

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成26年7月21日（月）～平成26年7月27日（日）【平成26年第30週】の感染症発生状況

第30週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)ヘルパンギーナ 2)感染性胃腸炎 3)手足口病でした。

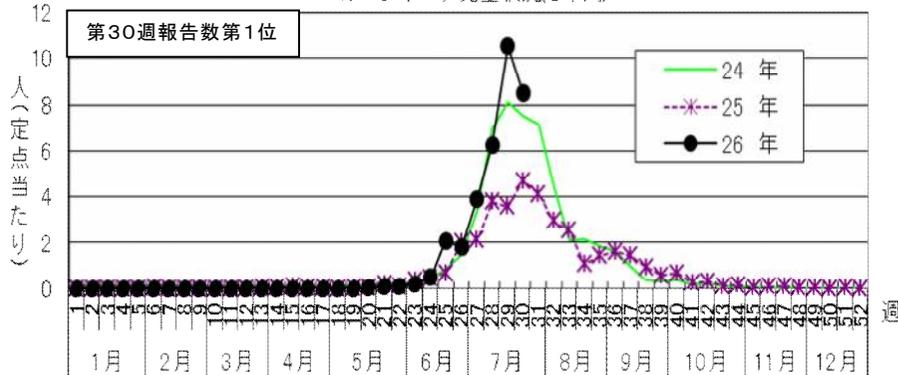
ヘルパンギーナは定点当たり8.52人と前週（10.52）より患者報告数は減少しましたが、依然として流行発生警報基準値である定点当たり6人を上回っています。

感染性胃腸炎は定点当たり4.39人と前週（6.27）より患者報告数は減少し、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

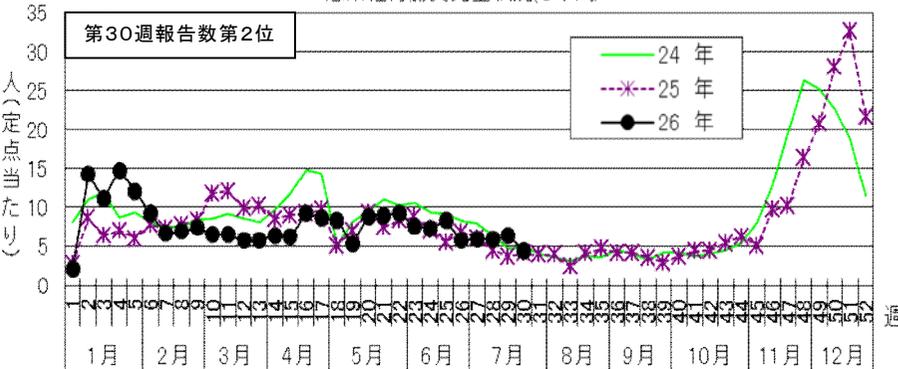
手足口病は定点当たり1.61人と前週（3.24）から患者報告数は減少し、例年より低いレベルで推移しています。



ヘルパンギーナ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



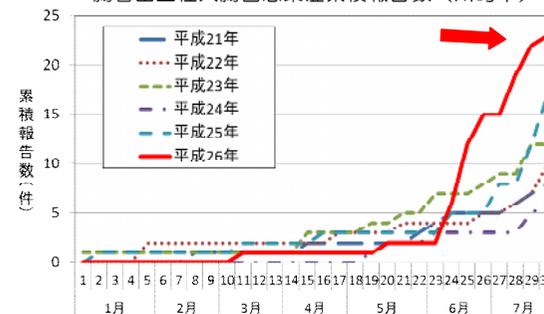
## ～食中毒警報が発令されました！！～

夏は気温や湿度が高くなり、腸管出血性大腸菌など細菌による食中毒が起こりやすくなります。

神奈川県では、食中毒発生の可能性が高まったことから、平成26年7月23日に食中毒警報を発令しました。

川崎市でも、今年は腸管出血性大腸菌感染症（O157 など）の届出数が例年を超える勢いで増加していますので、ご注意ください。

腸管出血性大腸菌感染症累積報告数（川崎市）



## 食中毒予防の3原則

家庭での食中毒を防ぐには、食中毒予防の3原則「**つけない**」「**増やさない**」「**やっつける**」を実践することが大切です。



十分な手洗い  
器具を清潔に



適切な保存  
冷蔵や冷凍



十分な加熱  
器具の洗浄・消毒